

ここに同志在り、未来見すえた声を聴く

梅原利夫(民主教育研究所代表運営委員)

「読み始めたら、とんでもない！ この人たち、芸人の私なんか足元にも及ばないくらい苦労したり、コンプレックスを持っていたり悩んだり。……あの人もこの人も『同じ人間なんだ。同志がここにいる。だったら私も頑張るか』と勇気が湧いてくるのです」。プロローグをかざる松元ヒロさんのこの言葉に、本書の特徴が凝縮されている。

本誌『人間と教育』の巻頭をかざる「インタビュー」企画のうちから、10人との語りを再編集したステキな読み物である。登場者は次の方々だ。

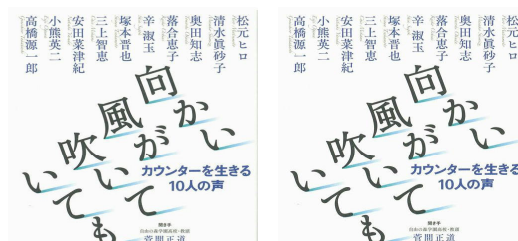
松元ヒロ(コメディアン)、清水眞砂子(児童文学者)、奥田知志(牧師、NPO法人抱撲代表)、落合恵子(作家、「クレヨンハウス」主宰)、辛淑玉(人材育成コンサルタント)、塚本晋也(映画監督、俳優)、三上知恵(ジャーナリスト、映画監督)、安田菜津紀(フォトジャーナリスト)、小熊英二(歴史社会学者)、高橋源一郎(作家)。

それぞれの語りは過去数年前のものなのに、そしてかつて私も読んでいたはずなのに、ほとんど「今初めて味わっているような新鮮な印象」を受けたのだ。「臨場感」があり「生命力」を維持し続けている。未来を見すえた声を引き出していた、ということだろう。

「カウンターを生きる」10人のつわものたちと菅間正道さんとの、丁々発止の快い緊張感と温かな人間味があふれている。インタビューとは「独占質問会」であり、「問うこと」とは「問われること」である、と語る菅間さんの基本軸が座っているからだ。各冒頭にインタビューイの簡潔な紹介があり、さらにインタビュー当日の「とっておきの逸話」があり、終わりの「注」で興味ある補足がなされている。それもまた編集者からの心のこもったメッセージである。

題名と装丁もいいセンスだ。裏表紙カバーの「表題の重なり濃淡」は秀逸である。

民研は、2021年度に創立30周年を迎える。それを記念した3種の出版物の初発である。「向かい風」のなかでも「陽気に口笛を吹きながら歩みを止めない」人間がいる(エピローグ)。民研らしい良質な文化が生み出されたことを喜び合いたい。



この時代を生き抜く
ヒントが満載!

向かい風が 吹いていても カウンターを生きる10人の声

奥田知志、小熊英二、落合恵子、清水眞砂子、辛淑玉、高橋源一郎、塚本晋也、松元ヒロ、三上知恵、安田菜津紀、社会の第一線で活躍する10人それぞれの生き方や信念から、この社会を自分らしく生き抜くための勇気と元気が湧き上がるインタビュー集。

【聞き手】菅間正道

(自由の森学園高校・教頭)

四六判 並製 256頁 本体 1800円+税

子どもの未来社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1-4F
TEL:03(3830)0027 FAX:03(3830)0028
<http://comirai.shop12.makeshop.jp/>

民主教育研究所への購入申込書

〒102-0084 東京都千代田区二番町 12-1 全国教育文化会館 5階
TEL 03-3261-1931 Fax 03-3261-1933 Email office@min-ken.org

1,800円(送料込み)



HPからも
申込みます

『向かい風が吹いていても』を購入します *書籍と一緒に請求書と振込用紙を送ります

名前				冊数 <input type="text"/>
住所	〒			
電話		Email		